

モロッコ政治月報(5月)

2015年7月6日
在モロッコ大使館

5月のモロッコの政治情勢等を、当地報道を中心に以下のとおりまとめました。要人往来については末尾の一覧表をご覧ください。

なお、当政治月報は当月中にメディアで多く取り上げられた話題をその都度記録したもので、これらニュースについての当館及び日本政府の立場を何ら反映するものではありません。

【主な出来事】

5閣僚の交替(5月20日)

モハメッド6世国王のサウジアラビア訪問(5月3日)

モハメッド6世国王のセネガル、ギニア・ビサウ訪問(5月20日～5月30日)

<内政・政局>

1 国家安全総局(DGSN)総局長の交替(DGST 総局長兼務)

(1)15日、国土監視総局(DGST)総局長アブドゥラティフ・ハムーシ氏は、モハメッド6世国王により国家安全総局(DGSN)総局長に任命された。同氏は引き続き DGST 総局長の職にとどまる。

(2)ルマイル前 DGSN 総局長については、王族の親族が被害者となった車両強盗事件の発生が契機となり引責辞任したと複数のアラビア語が伝えた。

2 妊娠中絶を巡る国民的議論の報告

(1)15日、モハメッド6世国王は、ラミッド法務・自由権大臣、トゥフィク永代財産・宗教大臣、エル・ヤザミ国家人権評議会議長、ルアルディ保健大臣から、妊娠中絶を巡る国民的議論の報告を受けた。

(2)国民的議論の結果、モロッコ人の大多数は妊娠中絶に反対だが、女性・家族・胎児・社会に悪影響を及ぼす限定的な場合(母体の生命・健康に対する危険、強姦・近親相姦による妊娠、胎児が奇形や不治の病にかかるリスク)は例外と考えていることが分かった。

(3)国王は、この結論を法制度整備により実施に移し、啓発・予防・科学的知識普及によって望まない妊娠の防止に努めるように指示を出した。

3 テロリスト募集グループの解体

(1)19日、内務省は声明により、「イスラム国」への参加を募っていたテロリスト募集グループの構成員をカサブランカで9名、ブジュニバで1名逮捕したと発表した。

(2) 要員募集グループのリーダーは、モロッコ国内にテロリスト休眠細胞を潜在させ、外国出身のISIL幹部と連携して重要施設に対する攻撃を実施する計画をたてていた。

(3) 募集グループはISILからの資金・物資援助を得ており、その一部は爆発物の作成手法に精通しているモロッコ人のISIL戦闘員と関係があった。

4 5閣僚の交替

(1) 12日、ベンキラン首相はモハメッド6世国王に対して、3名の閣僚の辞職願について上奏し、国王はこれを認めた。

(2) 辞任した閣僚は以下のとおり。

ア シュバニ議会・市民社会関係担当大臣(公正と発展党(PJD))

イ ベンカルドゥーン高等教育・科学研究・幹部養成大臣付特命大臣(PJD)

ウ ゲルージュ国民教育・職業訓練大臣付特命大臣(人民運動党(MP))

(3) 国王はベンキラン首相に対して、辞任した3閣僚と、2015年1月に辞任したウジンヌ・青年スポーツ大臣(ラエンセル都市計画・国土整備大臣が臨時に兼務)の後任候補を提示するよう指示した。

(4) 20日、モハメッド6世国王はカサブランカ王宮で以下5名の新閣僚(うち1名は閣内所掌変更)を任命した。

ア モハント・ラエンセル青年スポーツ大臣(MP党首、都市計画・国土整備大臣から)

イ ドリス・マッルーン都市計画・国土整備大臣(MP)

ウ アブドゥラジズ・エル・オマリ議会・市民社会関係担当大臣(PJD)

エ ハリード・バルジャウィ国民教育・職業訓練大臣付特命大臣(MP)

オ ジャミラ・エル・ムッサリ高等教育・科学研究・幹部養成大臣付特命大臣(PJD)

< 外交・国際関係 >

5 テドロス・エチオピア外相、スフィアン財務・経済相のモロッコ訪問

(1) 11～12日、テドロス・エチオピア外相およびスフィアン同財務・経済相がモロッコを訪問した。11日、両大臣はメズアール外務・協力大臣およびブーサイド経済・財政大臣と会談した。

(2) エチオピアによる「サハラ・アラブ民主共和国」承認により、両国関係は冷却していたが、今回の訪問中テドロス外相は、駐モロッコ・エチオピア大使館を開設する意向を表明した(モロッコは駐エチオピア大使館を維持してきた)。

(3) テドロス外相は、両国が農業、教育、保健に関する協力協定と、合同閣僚委員会設置にかかる了解覚書に署名したと述べた。合同閣僚委員会は7月にアディスアベバで開催される見込み。

6 モハメッド6世国王のサウジアラビア訪問

(1) 国王官房の声明によると、モハメッド6世国王は3日、リヤドでサルマン・サウジアラビア国

王と会談した。

両国王は友好的な二国間関係の更なる強化策について話し合った。また、モハメッド6世国王は、サウジアラビアの領土一体性保持への努力と、地域全体の平和と安全への脅威に対抗する努力に対して、完全で揺るぎない連帯を示した。一方、サルマン国王は、西サハラのモロッコ帰属とモロッコの一体性を支持するサウジアラビアの立場を再確認した。

(2) 両国王は利害を同じくする様々な地域情勢と国際問題について意見の一致を見た。特に、一部のアラブ諸国が直面する紛争について持続的解決を見出し、地域の安定の要であるパレスチナ問題に取り組むために、一層努力する必要があることを強調した。

モハメッド6世国王は、イエメン政府の正統性を守るためのサウジアラビアの取組への連帯を再確認した。両国王はシリア危機の解決に向けた全ての取組への支持と関与を強調した。また、テロと闘い、ISILに対抗し、イラクの安全と安定を回復するための国際的努力への支持を表明した。

7 モハメッド6世国王のUAE訪問

(1) 国王官房の声明によると、モハメッド6世国王は4日、UAEへの友好実務訪問を行った。

モハメッド6世国王はムハンマド・ベン・ザイェド・アンナヒヤン・アブダビ首長国皇太子と会談し、両者の個人的関係と王室・首長家間の友愛関係を歓迎した。同皇太子は3月17～18日にモロッコを公式訪問している。

(2) モハメッド6世国王は、UAEの地域・国際問題に関する外交イニシアティブと、その結果としてUAEが地域内で影響力ある地位を強化していることを歓迎した。両者は、モロッコとGCC諸国との友好関係を評価した。

(3) 原理主義やテロによる安全と安定に対する脅威については、社会開発と理性的な宗教思想等によって極端なイデオロギーに対抗する、統合的なアプローチの重要性が強調された。

両者は、アラブ諸国共同行動の仕組みを再検討し、特に現在アラブ諸国が直面する紛争の解決を目的とする積極的行動を目指すことの必要性を強調した。両国は、アラブ地域が現在抱えている重要課題の全てについて、イエメン、シリア、イラク、リビアの問題についても見解の一致を見た。

(4) 4日のモハメッド6世国王のアブダビ到着時には、礼砲21発と国家演奏を伴う公式歓迎行事が行われた。ムハンマド・ベン・ザイェド・アブダビ首長国皇太子はモハメッド6世国王に、ア首連の最高勲位であるザイェド章を授与した。

(注:モハメッド6世国王は数週間前からアブダビに私的に滞在していたと言われる。)

8 モロッコ・スペイン内相会談

(1) 5日、フェルナンデス・ディアス スペイン内務大臣がタンジェを訪問し、ハッサド内務大臣と会談した。

(2) 両大臣は、人権および個人の尊厳を最大限に尊重しつつ、両国が不法移民に対処

するために払っている努力を相互にたたえた。またフェルナンデス・ディアス大臣は、モロッコ国王主導による不法滞在者の合法化措置について賛意を示した。

(3) 両大臣は、テロリスト要員の募集・紛争地帯送り込み組織に対処するため両国情報機関の情報交換の仕組みを強化することを表明した。

(4) 両大臣は、ジブラルタル海峡を挟む陸、海、空路による麻薬密輸への効果的な協同対処のために共通メカニズム開発を強化することで合意した。

9 イエメンにおけるモロッコ空軍機の行方不明

(1) イエメンで作戦行動中のモロッコ空軍 F-16 戦闘機 1 機が10日18時以来行方不明となり、パイロットの捜索が始まった。

(2) モロッコのメディアは、モロッコ空軍がイエメンにおける有志連合軍事作戦に6機の F-16 戦闘機を参加させていると報じていた。モロッコ政府は3月末の時点で、イエメンの正当な政府を支えるための政治的支援等の実施と、アラブ首長国に配備していたモロッコ空軍をその支援に向けることを表明していた。

10 イエメンで墜落した F-16 戦闘機パイロットの儀仗礼と葬儀

(1) 20日、モロッコ軍は、行方不明となっていた空軍パイロットの遺体が帰還し、儀仗礼が行われたと発表した。儀仗礼は近親者およびルディ国防管理担当特命大臣の臨席のもとにサレ基地で行われた。パイロットの遺体がいつ帰還したのかは明らかになっていない。

(2) パイロットの消息を巡っては各種の情報が錯綜したが、モロッコ軍は15日にパイロットの遺体の所在の特定と、遺体の近いうちの帰還を示唆していた。

11 モハメッド6世国王のセネガル訪問

(1) 20日から28日、モハメッド6世国王は閣僚および約50人のモロッコ財界・企業幹部とともにセネガルを訪問した。

(2) 同行閣僚

外務・協力大臣、永代財産・宗教大臣、経済・財政大臣、農業・海洋漁業大臣、設備・運輸・ロジスティック大臣、商工業・投資・デジタル経済大臣、保健大臣、エネルギー・鉱山・水利・環境大臣、観光大臣、手工芸・社会連帯経済大臣

(2) 21日、モハメッド6世国王はサル大統領と首脳会談を行った。同日、両国首脳の臨席のもとに、以下13の協力協定等の署名式が行われた。

モロッコ・セネガル経済推進グループ設置にかかる了解覚書

税関行政相互支援協定

零細漁民のための水揚浜整備にかかる取極(両国漁業省、両国財務省、モハメッド6世持続可能開発財団、モロッコ Attijariwaha 銀行)

国土行政に関する協力協定
手工芸と社会連帯経済に関する合意覚書
工業分野協力議定書
物流協力枠組協定
乳製業・家畜防疫協力合意議定書
2015-18年観光協力実施計画
モハメッド6世持続可能開発財団のダカール拠点設置協定
職業訓練協力枠組み協定(両国の職業訓練担当公社間)
下水処理協力協定(両国の水道公社間)
上水道協力協定

(3) 25日、両国首脳は、モロッコ・セネガル経済推進グループ設置式を主催した。同グループは両国経済パートナーシップの制度化を目的とし、両国の外相と経営者団体会長が共同議長を務める。10の優先分野が指定され、6ヶ月に1回会合を行う。農産物加工、漁業、金融、工業、不動産、物流、電子商取引、研修の分野でのビジネス機会創出を目指す。

同設置式典では同時に、官民連携および両国民間企業間の15の協力協定が署名された。

ダカール西アフリカ・ビジネスセンター開発に係る了解覚書

漁業・養殖協力協定

モロッコ中央人民銀行(BCP)とセネガル政府との西アフリカ経済通貨同盟(UEMOA)金融市場における起債(300億CFA)に関する協定

ドリー公営牧場修繕費用に関する融資取決(Attijariwafa銀行)

モロッコ・アフリカマイクロファイナンス銀行とセネガル経済財政省との提携取決

モロッコ企業 Addoha 子会社とセネガル政府との投資取決(新興街区建設)

モロッコBMCE銀行グループによるセネガルの建設・工事会社への融資に関する取決(ダカール新大学建設のため)

Bank of Africa(モロッコBMCE銀行グループ)とセネガル政府との間の融資取決

モロッコ中央人民銀行(BCP)とAddoha社との、住宅建設と公務員向け住宅ローンに関する取決

Bank of Africa セネガル支店とセネガル物流企業組合との間の融資取決(トラック800台の更新)

太陽エネルギー開発のための提携取決(セネガル持続可能エネルギー庁とモロッコ太陽エネルギー庁)

奨学金相互支援に関する議定書

カサブランカ・ファイナンス・シティ(CFC)とセネガル投資公共事業庁との合意議定書

モロッコ Attijariwafa 銀行とセネガル投資促進公共事業庁との提携取決

Green of Africa 財団とセネガル戦略投資基金との、緑の大壁(Grande Muraille verte)計画(再生可能エネルギー)に関する合意議定書

(4) 22日から26日にかけて、両国首脳はモロッコの協力による社会経済プロジェクトの各種式典を行った。

22日 ダカール市内ファン大学病院への10トンの医薬品・医療資材の供与贈呈式

22日 ダカール市内大モスクでの金曜礼拝後に1万冊のコーランを供与

23日 セネガル北部サンレイ方面で、地方村落電化計画完工式

25日 ダカール市内漁港で水揚浜整備の起工式

26日 ダカール郊外で建設中の公務員および労働者向け集合住宅の一部落成式
(モロッコ建設企業のセネガル子会社が事業主)

26日 大型トラック3台と救急車3台の引渡式

(モロッコの自動車関連企業リヤド・モーターズ社が受注した大型トラック400台と救急車164台の一部)

28日 セネガル国家エイズ対策評議会への抗ウイルス薬・抗バクテリア薬等供与式
(モハメッド6世持続可能開発財団の寄贈)

(5) 訪問後発出された両国共同声明は、モハメッド6世国王がセネガルの2016～17年安保理非常任理事国への立候補を無条件に支持すること、両国首脳は、モロッコと西アフリカ諸国経済共同体(CEDEAO)(セネガルが現議長国)とのパートナーシップ協定締結に向けて努力すること、セネガルは西サハラのモロッコへの帰属を支持することなどが表明された。

11 モハメッド6世国王のギニア・ビサウ訪問

(1) 28日から30日、モハメッド6世国王はギニア・ビサウを公式訪問した。28日、ビサウ空港到着時に、礼砲21発を伴う公式歓迎式典がヴァス大統領の主催で行われた。

(2) 同行閣僚

外務・協力大臣、永代財産・宗教大臣、農業・海洋漁業大臣、設備・運輸・ロジスティック大臣、保健大臣、エネルギー・鉱山・水利・環境大臣、観光大臣、手工芸・社会連帯経済大臣

(3) 28日、両国首脳は首脳会談を行った後、16の協力協定等の署名式を主催した。

治安・地方統治に関する協定(両国内務省間)

外交・公用・特別旅券保持者の相互査免協定

二重課税回避および脱税防止条約

投資促進保護協定

司法分野協力議定書

漁業・養殖業協力協定

農業協力協定

南南協力のためのモロッコ・ギニアビサウ・FAO 三者協定

インフラ分野での技術協力枠組協定

保健分野協力協定

鉱業分野協力協定

手工芸・社会連帯経済協力協定

両国電気・水道公社間協定

太陽エネルギー開発に関する提携協定

職業訓練に関する協力枠組協定

ギニア・ビサウ学生・高官・技術者への奨学金供与に関する枠組協定

(4) 28日、両国間の農業パートナーシップ説明式典が両国首脳臨席のもとに開催され、アハヌーシュ農業・海洋漁業大臣が「緑のモロッコ計画」の経験を元に、ギニア・ビサウの農業開発に資する協力の可能性について説明した。

(5) 28日から30日にかけて両国首脳は以下の式典・視察を実施した。

- 28日 ギニア・ビサウ畜産保護・振興のための獣医機材引渡式(家畜伝染病対策、生産性向上、人への感染防止)(モハメッド6世持続可能開発財団による寄付)
- 28日 ビサウ市内に医療支援のため展開中のモロッコ王国軍野戦病院を視察
- 29日 ビサウ市内モスクでの金曜礼拝後に1万冊のコーランを供与
- 29日 シマオ・メンデス国立病院で、国家エイズ対策事務局に対するエイズ対策医薬品・医療資機材の引渡式(モハメッド6世持続可能開発財団による寄付)と、同病院にモロッコから供与されていた医療協力(31トンの結核治療薬とエイズ治療薬)の視察
- 30日 ビサウ市上水道供給能力向上のための機材供与(モロッコ電気水道公社(ONEE)による)引渡式

(5) 訪問後発出された両国共同声明の中で、ギニア・ビサウは西サハラのモロッコへの帰属を無条件に支持することを再確認した。

(6) 本訪問はモロッコ国王による初のギニア・ビサウ訪問。モハメッド6世国王とヴァス大統領は両国関係の強化に努力しており、ヴァス大統領は2015年1月にモロッコを非公式訪問していた。

12 仏・モロッコ・ハイレベル会合

(1) 28日パリで、ベンキラン首相はヴァルス仏首相とともに第12回仏・モロッコ・ハイレベル会合を開催した。本年2月までの1年間続いた仏・モロッコ間の外交的軋轢以後、両国関係の正常化に一定の区切りを付ける会合となった。ベンキラン首相には12名の閣僚が同行した。

(2) 会合後の共同プレス発表でヴァルス仏首相は、政府・その他機関・民間企業等全ての関係者が両国間の特別な経済関係を維持するために努力すると述べた。同首相は同様に、今回の会合で両国関係のロードマップが策定され、いくつかの優先課題に専念することが可能になる、と述べた。

(3) 会合の最終宣言の中でフランスは、西サハラ問題について、モロッコによる自治権付与提案を公正で持続的な政治的解決のための真摯で信頼できる基盤として支持すると表明した。

(4) 会合後、両国民間企業協力および支援、公務員制度改革、スポーツ・青年、女性の権利・障害者の権利、職業教育、農業者金融支援、教育、観光、宇宙、科学技術の分野で、計14の協力協定(AFDによる複数の資金供与・借款を含む)が署名された。

(5) 両国の内務大臣は個別に会談し、地中海における移民問題に協調して対応することで一致した。

(5) 両国の経営者団体(MEDEF と CGEM)はエルアラミ商工業・投資・デジタル経済大臣とファビウス仏外相の参加を得て会合(仏・モ経営者クラブ会合)を行い、情報共有・経験共有のための協力取決を締結した。

<モロッコ要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
5月3日	サウジアラビア	モハメッド6世国王	友好実務訪問(サルマン国王と会談)
5月4日	ア首連	モハメッド6世国王	友好実務訪問(ムハンマド・ベン・ザイエド アブダビ首長国皇太子と会談)
5月12日	ポルトガル	タルビ・アラミ衆議院議長、ピアディアラ参議院議長	地中海連合(UpM)議会会議
5月15日	フランス	ララ・サルマ王妃	国際がん研究センター(リヨン)開所50周年
5月21-22日	ヨルダン	ベンキラン首相、タルビ・アラミ衆議院議長	アブドゥッラー2世国王謁見、世界経済フォーラム(WEF)中東北アフリカ会議
5月20-28日	セネガル	モハメッド6世国王他	友好実務訪問
5月28-30日	ギニア・ビサウ	モハメッド6世国王他	公式訪問
5月28-29日	フランス	ベンキラン首相他	第12回仏・モロッコ・ハイレベル会合、オランダ大統領表敬

5月30日～	コートジボワール	モハメッド6世国王他	友好実務訪問
--------	----------	------------	--------

< 外国要人のモロッコ訪問 >

日付	国	氏名・肩書き	目的
5月3日	スペイン	フェルナンデス・ディアス 内務大臣	ハッサド内務大臣との会談
5月5-7日	米国	クリントン元大統領	クリントン・グローバル・イニシアティブ(マラケシュ)
5月11-12日	エチオピア	テドロス外相、スフィアン 財務・経済大臣	メズアール外務・協力大臣、ブーサイド経済・財政大臣と会談
5月13日	EU	欧州議会代表団	タルビ・アラミ衆議院議長と会談
5月13-15日	ロシア	マトビエンコ連邦議会評議会議長	モハメッド6世国王謁見、ブーサイド経済・財政大臣と会談
5月16-23日	バーレーン	ハマド・ベン・イーサ・アルハリーファ バーレーン国王	モハメッド6世国王と会談
5月25日	中国	宮 小 生 (Gong Xiaosheng) 中東問題特使	ブーアイダ外務・協力大臣付特命大臣と会談

(了)